

COMME ÇA DU MODE FILLE C-98PC

Cタイプ(前向き・対面だっこ兼用ぎゅっとだっこホールド)

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡してください。

もくじ

A面

ご使用前に	1
安全にお使いいただくために	1
ラダーの使用方法	2
背面の高さスライド方法	3
日常のお手入れ方法	3
△警告	4
△注意	6

B面

だっこのしかた	1
だっこのはずしかた	5
各部の名称	7

コンビ株式会社

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

製品にお気付きの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。
お客様相談室 / 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

ご使用前に

この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人用ポーチ型だっこ補助具です。「対面だっこ」と「前向きだっこ」として使用できます。

使用できるお子さまの月齢

〈前向きだっこ〉	体 重：9.0kgまで
	参考月齢：腰がすわってから～12ヵ月まで
	腰がすわってから 12ヵ月(9.0kg)まで
	(腰がすわる時期や体重はお子さまの発育により個人差があります)
〈対面だっこ〉	体 重：17.0kgまで
	参考月齢：腰がすわってから～48ヵ月まで
	腰がすわってから 48ヵ月(17.0kg)まで
	(腰がすわる時期や体重はお子さまの発育により個人差があります)

●使用者のウエストサイズ：110cmまで

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じるおそれのある内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

△警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。

△注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

□の図の中に具体的な注意内容が書かれています。

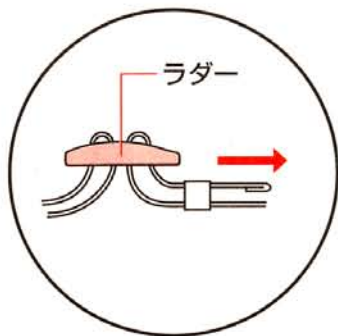
△記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

×記号は禁止行為であることをお伝えするものです。

ラダーの使用法

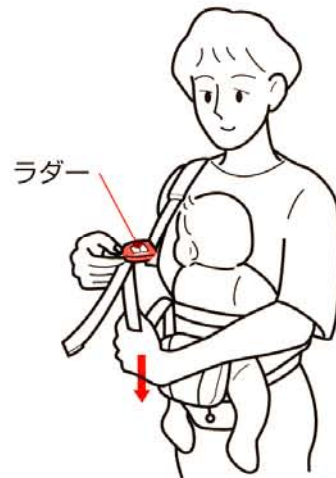
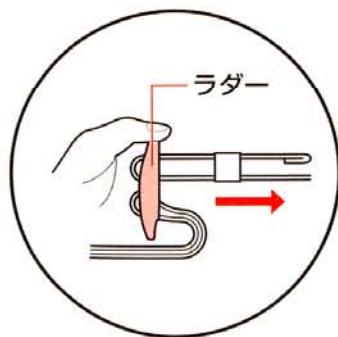
短くするとき

- 矢印のように肩ベルトを引きます。



長くするとき

- ラダーを指でベルトと垂直になるように起こします。



背面の高さスライド方法

高くするとき

- ①背面の下部を両手で平行に押し上げます。
- ②一番上の位置まで上がると軽くロックされます。



低くするとき

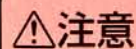
- ①背面の上部を下方に押し下ろします。
- ②一番下の位置まで降りると軽くロックされます。



日常のお手入れ方法

本体の洗濯はできません。

汚れた場合には、中性洗剤を薄めた水に布を浸し、固くしぼって拭いてください。その後洗剤が残らないように乾いた布で拭きとってください。



注意

汚れの拭きとりには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

警告

首がすわっていないお子さまや、ひとりすわりのできないお子さまへの使用は絶対にしないでください。
お子さまの身体が安定していませんので落下するおそれがあります。



体重が9.0kg以上のお子さまには前向きだっこをしないでください。
背面が前方に倒れ、お子さまが落下するおそれがあります。



だっこの際は肩ベルトを使用しても必ず手で支えてください。
お子さまが落下するおそれがあります。



使用中、ロック解除ひもを絶対に引かないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。



お子さまと使用者ができるだけ密着するよう肩ベルトの長さを調節してください。
お子さまの予期せぬ動きに対応できず落下するおそれがあります。



お子さまの乗せおろしは使用者がすわった状態で行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
他の人に介添えしていただくことをおすすめします。



腰ベルトバックルを確実にとめてください。
お子さまが落下するおそれがあります。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。



肩ベルト使用時は、必ずホールドベルトをループに通し背バックルを確実にとめてください。
お子さまが落下するおそれがあります。



ベルトの先端の返し縫い部をほごいたり、中の構造体の改造や分解をしないでください。
故障や重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

授乳後約30分以内や連続2時間以上の使用はしないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



お子さまにより使用者の視界がさえぎられる場合には使用を中止してください。転倒などにより使用者やお子さまがケガをするおそれがあります。



「前向きしっかりだっこ」の際、肩ベルトがお子さまの首にかからないよう注意してください。お子さまが窒息などでケガをするおそれがあります。



ほつれ、やぶれ、傷、またバックルなどの部品が破損した場合は、ただちに使用を中止してください。そのまま使用しますと、事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。加熱や雨水などでバックルや構造体に変形し、事故につながるおそれがあります。



使用者は背面に過度な力を加えないよう注意してください。また、背面にお子さまがぶら下がったり、荷物などを下げたりしないでください。背面が変形し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこする以外の目的では使用しないでください。破損や故障の原因になります。



使用中、むやみに構造体収納ファスナーを開けたり、構造体を出したりしないでください。構造体と縫製品が分離し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

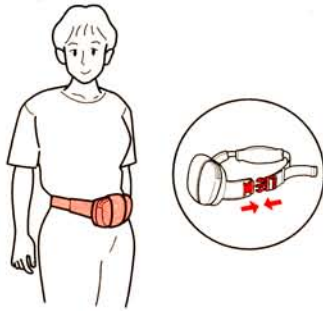


使用者自身が痛みや不快を感じた場合には、使用を中止してください。



だっこのしかた

1 本体をウエストにぴったりと
きつめに装着します。



警告 お子さまが落下するおそれがありますので、**腰ベルトバックル**を引張り、はずれないことを必ず確認してください。

2 腰パッドを腰骨の位置に合わせます。



3 ①フラップをフラップ止めBからはずします。
②座面と腰当てを開き、両手でカチッと音がするまで開けます。(このとき背面が連動して立ち上がります)
③フラップをフラップ止めAにとめます。



対面だっこ

4 お子さまを乗せます。



警告 ちょっとだっこの際、お子さまが落下するおそれがありますので必ず**両手で支えて**ください。

5 背面の下部を両手で平行に押し上げます。背面が一番上の位置まで上がると軽くロックされます。ここまでの状態で、短時間のちよっただっこに使用できます。



前向きだっこ

4 背面の下部を両手で平行に押し上げます。背面が一番上の位置まで上がると軽くロックされます。



警告 お子さまが落下するおそれがありますので体重が9.0kg以上のお子さまには前向きだっこをしないでください。

5 お子さまを乗せます。ここまでの状態で、短時間のちよっただっこに使用できます。

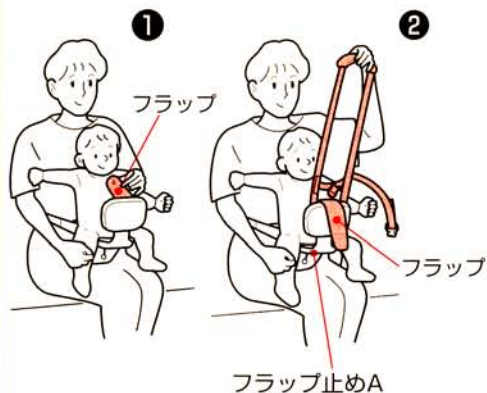


警告 ちょっとだっこの際、お子さまが落下するおそれがありますので必ず**両手で支えて**ください。

- 6** ①フラップをフラップ止めAからはずし、開けます。
②ポーチファスナーを開けて中から肩ベルトを引き出します。
③フラップをフラップ止めAにとめます。



- 6** ①フラップをフラップ止めAからはずし、開けます。
②ポーチファスナーを開けて中から肩ベルトを引き出します。
③フラップをフラップ止めAにとめます。



- 7** ①肩ベルトに付いているラダーを調節し、一番長い状態にして使用者の頭と片腕を通します。
※「ラダーの使用方法」(A面2ページ)をご参照ください。
②お子さまの左右のわきの下に肩ベルトを通し、ホールドベルトを使用者とお子さまの間に通します。
③ホールドベルトをループに通してから、カチッと手応えがあるところまで背バックルを差し込みます。



- ④お子さまの体型に合わせてホールドベルトの長さを調節します。ホールドベルトの締め具合は、指1本入るぐらいが目安です。
※背ベルトの位置が高くお子さまのわきの下に肩ベルトが当たるような場合は、背面を下にスライドさせて低い状態でご使用ください。

警告 お子さまが落下するおそれがありますので、必ず**ホールドベルトをループ**に通し、**背バックル**を確実にとめてください。

- 7** ①肩ベルトに付いているラダーを調節し、一番長い状態にして使用者の頭と片腕を通します。
※「ラダーの使用方法」(A面2ページ)をご参照ください。
②お子さまの左右のわきの下に肩ベルトを通し、ホールドベルトを使用者とお子さまの間に通します。
③ホールドベルトをループに通してから、カチッと手応えがあるところまで背バックルを差し込みます。



- ④お子さまの体型に合わせてホールドベルトの長さを調節します。ホールドベルトの締め具合は、指1本入るぐらいが目安です。
※背ベルトの位置が高くお子さまのわきの下に肩ベルトが当たるような場合は、背面を下にスライドさせて低い状態でご使用ください。

警告 お子さまが落下するおそれがありますので、必ず**ホールドベルトをループ**に通し、**背バックル**を確実にとめてください。

注意 窒息などでケガをするおそれがありますので、肩ベルトがお子さまの首にかからないように注意してください。



- 8** ラダーを使って肩ベルトの長さを調節します。このとき、使用者とお子さまの間にすきまがないようきつめに調節するとだっこがより安定します。
※「ラダーの使用方法」(A面2ページ)をご参照ください。

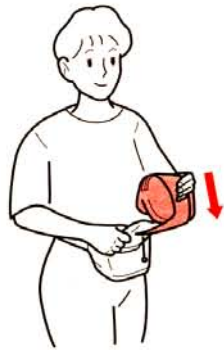


だっこのはずしかた

- 1** ラダーを使って肩ベルトを長くします。
このとき、お子さまをしっかり支えながら行ってください。
※「ラダーの使用方法」(A面2ページ)をご参照ください。



- 4** ポーチ上部を持って強く下に押し下します。
背面が一番下の位置まで下がると軽くロックされます。

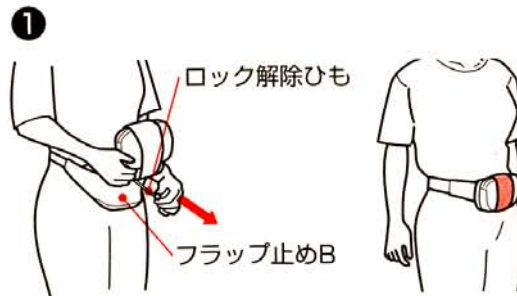


⑤

- 2** 背バックルをはずし、ホールドベルトをはずしてお子さまを安全なところへおろします。



- 5** ①ロック解除ひもを引いて折りたたみます。
②フラップをフラップ止めAからはずしフラップ止めBにとめます。



※座面を手で上に持ち上げるようにしながらロック解除ひもを使用者の身体から傾め45°ぐらいの方向に引くと、よりスムーズに折りたためます。

⑤

- 3** フラップをフラップ止めAからはずし、開けます。
肩ベルトを背面ポーチ内に収納しポーチファスナーを閉めます。

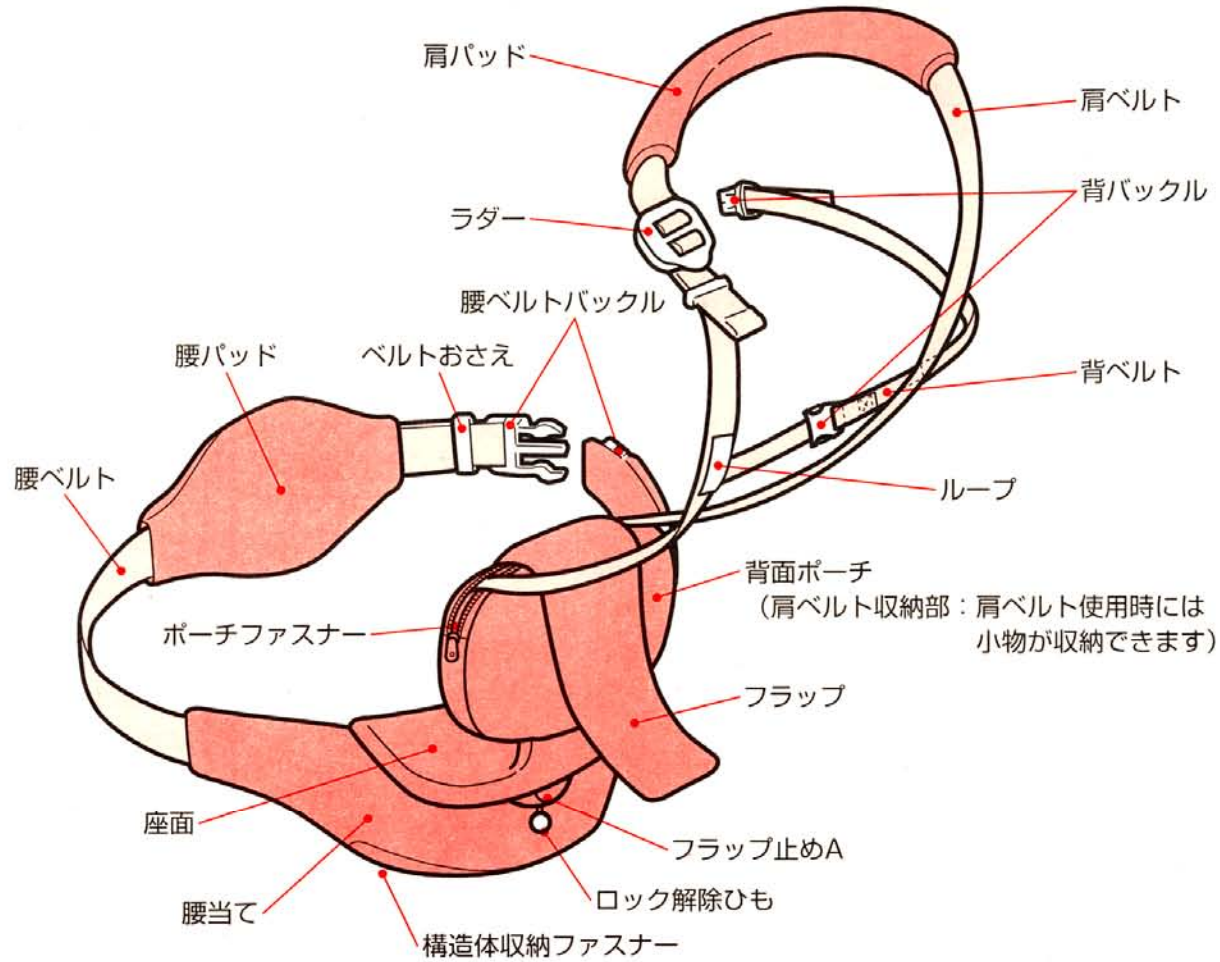


- 6** 腰ベルトバックルをはずします。



⑥

各部の名称



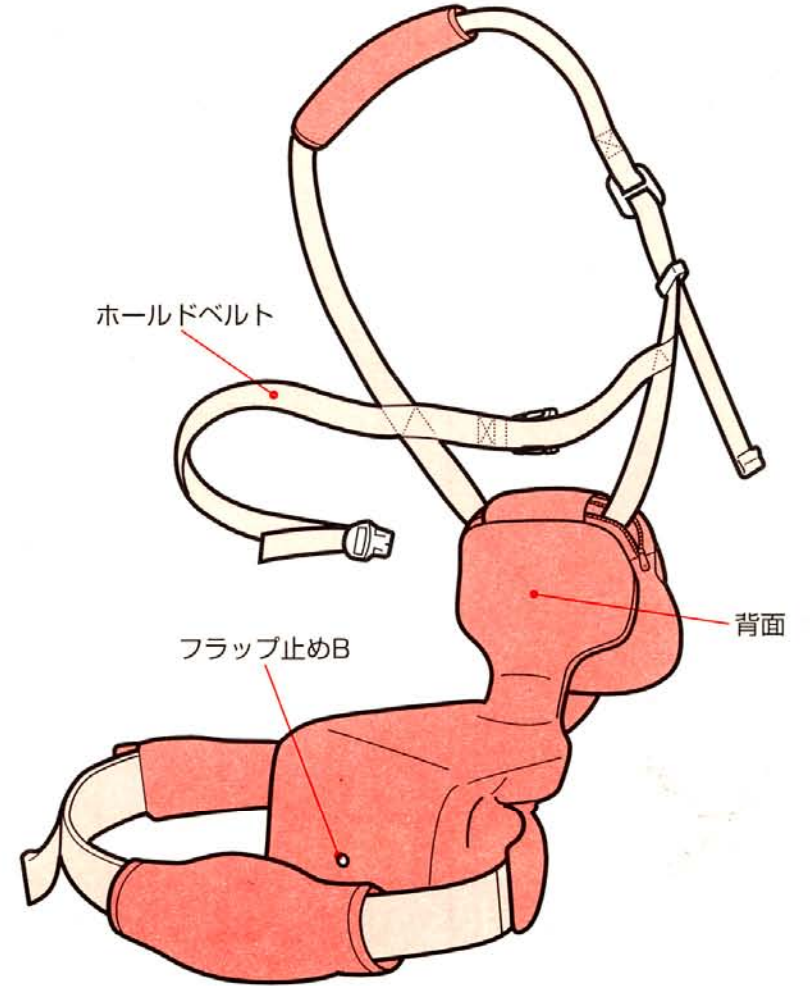
⑦

●素材

〔本体〕 ブラック生地：ポリエステル／格子生地：ポリエステル・綿

〔ベルト〕 ポリプロピレン

〔バックル〕 ポリアセタール



⑧